

モルディブ・バア環礁 ぐるぐるマンタサファリ!

PHOTO & TEXT : KENTARO HOSODA

MAP
CLICK!

モルディブのバア環礁には、
多い時には100枚を超えるマンタがやってくる、
「ハニファルベイ」というポイントがある。

マンタはここに集団でやってきて、
プランクトンを捕食するため回転を行う。

これが通称「ぐるぐるマンタ」だ。

巨大なマンタが大集結するタイミングを狙って、
期間限定でおこなわれるのが「ぐるぐるマンタサファリ」だ。

興奮のサファリを紹介しよう!

MALDIVES

S 驚き
SURPRISE

MALDIVES
モルディブ・バア環礁

**バア環礁「ハニファルベイ」で
マンタの大群に囲まれた!**

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島



「ぐるぐるマンタ」の圧倒的な迫力！

目の前には信じられないような光景が広がっていた。巨大なマンタが何枚も舞っている。それも1枚や2枚ではなく、軽く10枚以上が乱舞していた。ダイバーが見たい魚の上位にランクされるであろうマンタが、大群で見られるのだから興奮しないわけがない。

世界でも珍しいマンタの集結が見られるのは、モルディブ・バア環礁にある「ハニファルベイ」というポイントだ。ここはプランクトンが溜やすい地形になっており、マンタは捕食のため集団で集まってくる。マンタの集結が見られるのは、雨期に当たる6～11月のシーズンだ。

「ハニファルベイ」は、スクーバダイビングが禁止となっており、スノーケリングのみでマンタと泳げるというルールが定められている。マンタはプランクトンが濃いところを敏感に感じとるようで、大きな口を開けながら同じ場所を行ったり来たりを繰り返していた。そして、時々、口を開けたままぐるぐると回転してプランクトンを捕食していた。マンタがぐるぐるしている場所は、たいていプランクトンが濃いところで、周囲は次々とやってくるマンタだらけになる。素潜りで水中に入って写真を撮っていると、頭上をマンタが横切っていく。浮上の際は、周りをよく見ないとマンタにぶつかりそうになることもあった。ここまでマンタに接近できる体験は「ハニファルベイ」ならではだろう。

驚き
SURPRISE



当たれば100枚を超える マンタに出会えるかも

モルディブのサファリは、ジンベエザメ、マンタ、ハンマーヘッドシャーク等の大物を狙う「王道サファリ」と呼ばれるものが一般的だ。このサファリは南北マーレ、アリ環礁などを巡って、ダイバーが見たい大物に会いに行くという定番のルートだ。今回の「ぐるぐるマンタサファリ」は、雨季のシーズン限定で、バア環礁を巡るスペシャルトリップが開催されるのだ。バア環礁のサファリのルートは、北マーレ環礁を潜りつつバア環礁へ渡り、環礁内に数日滞りマンタを狙い、再び北マーレに戻ってくるルートとなっている。マンタ狙いをメインにしたサファリで、中でも「ハニファルベイ」の「ぐるぐるマンタ」がハイライトだ。ここでは過去に、マンタの群れにジンベエザメが突入するというような、驚くようなシーンが見られたことが何度かある。

サファリボート「アイランドサファリロイヤル号」でガイドを務める的場さんにはマンタについて訪ねてみた。「バア環礁はモルディブの中でもマンタが多い環礁ですね。マンタが集まるのは6～11月の雨季になるので、この季節を狙って、期間限定のスペシャルトリップでサファリが行われます。どのポイントを潜ってもマンタはよく見かけますが、特にハニファルベイはプランクトンが溜まる場所なので、当たれば100～150枚のマンタが集まってくることもありますよ」とのこと。噂にたがわず、今回の取材でもマンタが乱舞する姿が見られた。

R ロマンズ
ROMANCE

MALDIVES
モルディブ・バア環礁

思い出すたびにワクワクする 「ぐるぐるマンタサファリ」



100枚を超えるマンタに会える可能性がある「ハニファルベイ」は世界的に見ても超ビッグなポイントだ。ただ、「ハニファルベイ」のマンタは当たれば驚くようなシーンに遭遇するが、いつでもマンタの大群に遭遇するわけではないようだ。当然のことながら自然が相手なので、潮や風など天候によってマンタの出方に影響がでるらしい。大当たりになるにはギャンブル的な要素もあるが、奇跡的とも言えるマンタの群れが見たい人は、チャレンジする価値があるサファリだと思う。当たれば一生分のマンタに出会えると言っても過言ではないのである。

筆者は2006年にもこのポイントを潜っているが、その時は100枚以上のマンタがやってきた。その当時はフィルムで撮影しており、現像したフィルムをチェックしたところ、1カットに38枚のマンタが写っているものがあった。その時、周囲にはフレームに収まりきれないくらいのマンタが泳いでいたことから、軽く100枚オーバーの数が出ていたと思われる。

「ぐるぐるマンタ」は、何度見ても興奮するし、機会があればまたこの海に入りたいと思う。このサファリは、思い出すたびにワクワクするような感動をもたらしてくれた。



MALDIVES モルディブ・バア環礁

快適なアイランドサファリロイヤル号に乗って、 バア環礁サファリへ



モルディブでのダイビングを存分に楽しみたい、という人には迷わずダイブサファリをお勧めする。サファリとは船に寝泊まりしながら、ダイビングを行うスタイルのこと。リゾートでのんびりしたいという目的なら別だが、ダイビングがメインだったら迷わずサファリ一択だ。なぜなら、サファリボートは、環礁をまわって、いいポイントを潜りながら移動するので、楽しくエキサイティングなダイビングが多くなるのである。そんなサファリでは、ボートは快適なほうがいいに決まってる。「アイランドサファリロイヤル号」はモルディブで最大クラスのサファリボートで、サロン、レストランのスペースはたっぷりとられている。各部屋の設備も充実しており、エアコン、冷蔵庫、シャワー、トイレまで完備。部屋も広いが、シャワールームも贅沢にスペースをとっており、ゲストが快適に過ごせるような造りになっている。さらにデラックスルームにはソファ、スイートルームにはバスタブまでがある充実ぶりだ。後部デッキ、トップデッキには、ゆったりとしたデッキチェアが備えてあり、海を眺めながらログ付けをしたり、昼寝を楽しむこともできる。カメラ置き場や充電スペースもあり、カメラ派の使い勝手もいい。

「アイランドサファリロイヤル号」は、設備といったハード面だけでなく、ガイド陣もレベルが高い。サファリ歴5年のガイドの場さん、モルディブ人ベテランガイド、マウルフさんが的確なガイドでゲストを楽しませてくれる。バア環礁サファリの「ぐるぐるマント」は一度見たら、決して忘れられないような感動をもたらしてくれる。めったに出来ない体験を味わいたい人は、このサファリに是非参加してみたい。



INFORMATION

●国名:モルディブ共和国 ●ビザ:30日以内の観光目的であれば、到着時に無料でビザが発給される。●パスポート:パスポートは、有効残存期間は滞在日数以上が必要。●言語:ディベヒ語。リゾートでは英語が通じる。
●通貨:モルディブ・ルフィア(Rf)。サファリボートでは、US\$のキャッシュもOK。●時差:日本よりマイナス4時間。日本が正午の時、モルディブは同日の午前8時。●電圧:220~240v/50Hz。プラグはBFタイプ。●水:ミネラルウォーターの飲用を。●アクセス:日本からモルディブの首都マレへは、スリランカ航空のコロンボ経由、シンガポール航空のシンガポール経由、マレーシア航空のクアラルンプール経由などがある。マレ空港到着後、隣接する桟橋からドーニと呼ばれる小型船に乗り、停泊しているサファリボートへ乗船する。●シーズナリティ:雨季は5月~10月頃、乾季は11月~4月頃の2シーズンに分かれる。雨季は乾季に比べると透明度は落ちるが、その分、魚影は濃くなる。また潮の流れも乾季に比べると緩くなる。